



平成25年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月12日

上場会社名 株式会社プラップジャパン 上場取引所 大  
 コード番号 2449 URL <http://www.prap.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)杉田 敏  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)泉 隆 TEL (03)4580-9111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 平成一年一月一日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第3四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	3,458	8.2	374	8.4	411	21.4	240	47.8
24年8月期第3四半期	3,195	3.7	345	△5.9	339	△8.6	162	△5.6

(注) 包括利益 25年8月期第3四半期 325百万円(73.8%) 24年8月期第3四半期 187百万円(△7.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年8月期第3四半期	60	20	—	—
24年8月期第3四半期	40	72	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第3四半期	3,869	2,570	64.3
24年8月期	3,639	2,343	63.1

(参考) 自己資本 25年8月期第3四半期 2,488百万円 24年8月期 2,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	— —	0 00	— —	25 00	25 00
25年8月期	— —	0 00	— —		
25年8月期(予想)				25 00	25 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,404	(3.5)	521	(16.5)	516	(15.4)	272	(27.3)	68	23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料5ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。  
詳細は、添付資料5ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年8月期3Q	4,679,010株	24年8月期	4,679,010株
25年8月期3Q	682,726株	24年8月期	682,619株
25年8月期3Q	3,996,351株	24年8月期3Q	3,996,428株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(4) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) セグメント情報等 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、米国経済の改善や新しい政権による経済・金融対策の期待感から円安・株高など経済回復の兆しがみえました。しかしながら欧州や新興国の景気減速等もあり、実体経済は伴わず、先行きは依然不透明なままです。

PR業界におきましても、企業の業績不振や事業縮小に伴う受注単価の減少やPRイベントの縮小などが続き、依然厳しい環境下での取り組みを求められています。

このような環境下でも、当社はヘルスケア分野など引き合いが多い傾向にあり、既存顧客における記者セミナーや記者会見サポート、PRイベントなどの受注を獲得し、当該分野では堅調に業績を伸ばしました。また、ソーシャルメディアに特化した戦略立案・マーケティング業務の年間契約を獲得するなど、PR知識を付加したサービスを提供することで、高まるデジタル領域におけるニーズに対応しています。

連結子会社における業績では中国2社は、新規案件の引き合いも多く、ソーシャルメディア上でのデザイン開発や調査プロジェクト、担当者にあわせた広報研修など、幅広い企業ニーズに対応したPR活動を実施しました。中国におけるソーシャルメディア関連のPRセミナーを開催するなど営業深耕にも力をいれています。

また、国内の連結子会社においてはプロジェクト業務を複数獲得するなど売上、営業利益ともに好調に推移しました。なお、ウィタンアソシエイツ株式会社は第2四半期連結会計期間より連結業績へ含めています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,458百万円(前年同四半期比8.2%増)、営業利益は374百万円(前年同四半期比8.4%増)、経常利益は411百万円(前年同四半期比21.4%増)、四半期純利益は240百万円(前年同四半期比47.8%増)となりました。

部門別の概況は次の通りです。

#### [コミュニケーションサービス部門]

コミュニケーションサービス部門におきましては、当第3四半期連結累計期間は、新規レギュラークライアントとして、アパレル、飲料、自動車、金融、IT、電機などの企業を獲得しました。また、新規および既存顧客のプロジェクト業務として金融、不動産、消費財メーカー、食品、飲料、小売、自動車、ヘルスケア、IT、などの企業を多数獲得しました。

この結果、コミュニケーションサービス部門の売上高は3,255百万円(前年同四半期比11.1%増)となりました。

#### [クリエイティブサービス部門]

クリエイティブサービス部門におきましては、当第3四半期連結累計期間は、主に消費財メーカー、製薬、飲料、食品、研究所、自動車関連のイベントを受注しました。また、印刷物関連の業務におきましては、コンサルティング会社、医療関係、ヘルスケア関連会社のPR誌などを受注しています。

この結果、クリエイティブサービス部門の売上高は、203百万円(前年同四半期比23.3%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における主な勘定科目等の増減の状況は次のとおりです。

#### (売上高)

当第3四半期連結累計期間において売上高は3,458百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ263百万円(8.2%)の増収となりました。

これは、当社単体の売上高は61百万円(△2.5%)の減収となったものの、既存の連結子会社4社の業績が好調だったことにより増収となったことに加え、第2四半期連結会計期間より連結子会社化されたウィタンアソシエイツ株式会社の売上高が貢献したことによるものです。

(営業利益)

営業利益は、374百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ28百万円(8.4%)の増益となりました。これは、売上高が前年同四半期連結累計期間より263百万円(8.2%)の増収となったことに加え、販売費及び一般管理費が前年同四半期連結累計期間に比べ7百万円(△1.3%)減少したことによるものです。

(経常利益)

経常利益は、411百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ72百万円(21.4%)の増益となりました。営業利益が28百万円(8.4%)の増益となったことに加え、投資有価証券売却益が21百万円増加したことや、当第3四半期連結累計期間に円安の影響による為替差益が12百万円増加したことによるものです。

(四半期純利益)

四半期純利益は、240百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ77百万円(47.8%)の増益となりました。これは、経常利益が72百万円(21.4%)の増益となったことに加え、前年同四半期連結累計期間に計上された特別損失の当社移転に伴う事務所移転費用13百万円が当第3四半期連結累計期間では計上されなかったことによるものです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、3,116百万円と前連結会計年度末に比べ301百万円の増加となりました。これは、たな卸資産が10百万円減少したものの、現金及び預金256百万円、受取手形及び売掛金37百万円が増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、753百万円と前連結会計年度末に比べ71百万円の減少となりました。これは、連結子会社の株式取得によりのれんが20百万円増加したものの、投資有価証券41百万円、長期性預金22百万円、繰延税金資産16百万円が減少したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、794百万円と前連結会計年度末に比べ45百万円の減少となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金55百万円、賞与引当金28百万円が増加したものの、未払法人税等48百万円、未成業務受入金32百万円、未払配当金23百万円が減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、505百万円と前連結会計年度末に比べ49百万円の増加となりました。これは、主に長期借入金38百万円、退職給付引当金2百万円、役員退職慰労引当金9百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,570百万円と前連結会計年度末に比べ226百万円の

増加となりました。これは、利益剰余金が140百万円増加したのに加え、その他有価証券評価差額金32百万円、少数株主持分35百万円が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年8月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績は、概ね計画通りに推移しております。現時点において平成24年10月12日に公表した「平成24年8月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 【特有の会計処理】

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

### (4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,923	2,180
受取手形及び売掛金	659	696
有価証券	17	22
たな卸資産	92	82
繰延税金資産	94	94
その他	28	43
貸倒引当金	△0	△3
流動資産合計	2,815	3,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	81	72
車両運搬具(純額)	2	—
その他(純額)	18	21
有形固定資産合計	102	94
無形固定資産		
借地権	0	0
ソフトウェア	12	10
のれん	14	34
無形固定資産合計	27	45
投資その他の資産		
投資有価証券	163	122
差入保証金	267	266
繰延税金資産	191	175
その他	71	48
投資その他の資産合計	694	612
固定資産合計	824	753
資産合計	3,639	3,869
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	197	207
1年内返済予定の長期借入金	—	55
未払法人税等	139	90
未成業務受入金	133	101
賞与引当金	78	106
その他	290	232
流動負債合計	839	794
固定負債		
長期借入金	—	38
退職給付引当金	132	135
役員退職慰労引当金	321	331
その他	1	0
固定負債合計	455	505
負債合計	1,295	1,299



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	470	470
資本剰余金	374	374
利益剰余金	1,937	2,078
自己株式	△434	△434
株主資本合計	2,348	2,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△41	△8
為替換算調整勘定	△10	7
その他の包括利益累計額合計	△51	△0
少数株主持分	47	82
純資産合計	2,343	2,570
負債純資産合計	3,639	3,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
売上高	3,195	3,458
売上原価	2,270	2,511
売上総利益	925	946
販売費及び一般管理費	579	572
営業利益	345	374
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
為替差益	—	12
投資有価証券売却益	—	21
その他	2	1
営業外収益合計	4	39
営業外費用		
為替差損	3	—
支払利息	—	1
投資有価証券評価損	6	—
出資金運用損	1	1
営業外費用合計	11	2
経常利益	339	411
特別利益		
有形固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
有形固定資産除却損	2	0
事務所移転費用	13	—
特別損失合計	15	0
税金等調整前四半期純利益	323	412
法人税、住民税及び事業税	141	149
法人税等合計	141	149
少数株主損益調整前四半期純利益	182	262
少数株主利益	19	22
四半期純利益	162	240

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	182	262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	32
為替換算調整勘定	7	30
その他の包括利益合計	5	63
四半期包括利益	187	325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	291
少数株主に係る四半期包括利益	22	34

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)

当社グループは、企業の広報活動の支援・コンサルティング業務を中心としたPR事業のみの単一セグメントであるため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

当社グループは、企業の広報活動の支援・コンサルティング業務を中心としたPR事業のみの単一セグメントであるため記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。